

国際交流基金助成事業報告書

大阪医科薬科大学
薬学部 6 年次生
青柳 龍征

1. はじめに

この度、国際交流基金による助成金の援助を受け、2025 年 6 月 25 日から 6 月 27 日までの期間、韓国（ソウル）において開催された、第 4 回韓日若手薬剤学研究者ワークショップ（The 4th Korea-Japan Young Scientists Workshop on Pharmaceutics）へ参加し、自身の研究成果を発表しましたので報告させていただきます。

2. 学会について

Korea-Japan Young Scientists Workshop on Pharmaceutics は両国の若手研究者の製剤学とその関連領域との交流を核に、情報交換や協力関係を築くことを目的として設立されました。今回で 4 度目の開催を迎え、製剤やドラッグデリバリーシステムなどの領域をメインテーマとして議論が行われました。



口頭発表会場



ワークショッププログラム

3. 学会の様子

発表は口頭発表、ポスター発表に分かれており、私は、“Controlled drug dissolution from dissolving microneedles containing amorphous salt” という演題でポスター発表を行いました。韓国からの参加者に対し、研究背景から実験内容、研究結果について説明し、質疑応答を行いました。説明やディスカッションは全て英語で行いました。事前に発表内容や、想定される質問に対する回答を作成し、学会に挑みましたが、英語での発表は初めての挑戦であり、質疑応答で十分に伝えきれない部分もありました。この経験から、英語でのコミュニケーション能力を向上させる重要性を再認識しました。また、博士課程や修士課程の学生など

も多数参加しており、議論の高度さや、英語運用能力の高さを実感し、今後の自己研鑽の必要性を身に染みて感じました。

今回の経験は、大変貴重で、自身の視野を広げ、研究への理解を深めるとても有意義な時間となりました。

4. 韓国について

韓国滞在期間中、異国の食文化を堪能しました。サムギョプサルは豚バラ肉を焼いて食べる韓国料理です。焼いた豚肉を切り、味噌やキムチ、ニンニクなどを合わせ、サンチュに巻いて食べます。また、韓国で人気のあるサムゲタン専門店にてチョンボッチュッ（アワビ粥）をいただきました。こちらもキムチや塩などを加えることで、様々な味わいを引き出すことができました。今回の滞在は短期間でしたが、海外で長期間生活する際は異国の食文化に順応することも重要だと実感しました。



ポスター発表の様子



サムギョプサル



チョンボチュッ

5. 終わりに

この度、国際交流基金助成事業の助成金により、The 4th Korea-Japan Young Scientists Workshop on Pharmaceuticals に参加させていただくことができました。本ワークショップを通じて、自身の研究に関連する知識を深めると共に、国際的な場で自身の考えを発表し、議論するという大変貴重な経験をさせていただきました。一方で自身の英語力不足を実感しました。この経験を糧に今後、語学力をより向上させたいと考えます。

最後に、このような機会を与えてくださった、戸塚裕一教授をはじめ、研究指導をしてくださった内山博雅先生、同行していただいた田仲涼真先生に心からの感謝の意を表し終わりの言葉とさせていただきます。